

◆エチオピア内政事情に関する外交文書約 30,000 ページを収録

GALE PRIMARY SOURCES

Archives Unbound

Archives Unbound アーカイブス・アンバウンド

米国国立公文書館所蔵資料デジタル・アーカイヴ

エチオピアの国内事情 1945-1963 年

Records of the Department of State Relating to Internal Affairs, Ethiopia, 1945-1963

(Source Institution: National Archives (United States) / Content: Approx. 30,000 images)

FTE (学生数+教職員数)	5,000 以下	5,001~15,000	15,001~30,000	30,001 以上
買い切り価格	詳細は弊社までお問い合わせください			

※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

※年間管理費(ホスティング・フィー)は不要です



本コレクションは米国国立公文書館が所蔵する国務省一般記録群 (RG59) の中から、米国国務省のエチオピア内政事情に関する外交文書約 30,000 ページを収録するものです。収録文書は米国国務省在外公館の外交官が国務省と交わした往復書簡です。

第二次大戦終結時、エチオピアは最後の皇帝ハイレ・セラシエ (1892-1975; 在位 1930-1974) の治世下にありました。ハイレ・セラシエは憲法制定、官僚機構や軍隊の近代化、経済改革、奴隷制廃止、アディスアベバ大学創設等の改革を実施したものの、議会政治の基本条件である政党がなく、民意を政治に反映させる手段が存在しないその国制は近代的な立憲君主制と呼べるものではなく、立法、行政、司法の権力を手にした皇帝による権威主義的支配体制でした。一部の特権的階層による支配体制が温存され、国民の多くは困窮の状態に置かれていました。

このような状況の中で 1960 年、皇帝のブラジル訪問の機会を狙って、皇帝直属の親衛隊がギルマン・ネウエイとメンギスツ・ネウエイ兄弟を指導者としてクーデタを敢行しますが、軍の支持を得られず失敗に終わります。1962 年にはエチオピアは隣国エリトリアを併合します。第二次大戦中から戦後にかけて英国の支配下に置かれていたエリトリアは 1952 年の国連決議により、エチオピアと連邦を形成していました。エチオピアのエリトリア併合は、エチオピアとエリトリアの独立を目指す勢力との間で以後 30 年間にわたり繰り返される武力紛争の起点となります。アフリカで多くの国が独立を達成した直後の 1963 年にはアフリカ統一機構 (Organization of African Unity, OAU) が創設され、アディスアベバに本部が置かれますが、これには汎アフリカ主義を掲げたハイレ・セラシエが大きく貢献しました。

本コレクションは米国国務省の外交文書を通じて第二次大戦後のハイレ・セラシエ皇帝治世下のエチオピアの内政事情を浮き彫りにします。

※本コレクションはマイクロフィルム版 Records of the Department of State Relating to Internal Affairs, Ethiopia, 1945-1963 をデジタル化したものです

第一級の学術研究史料をデジタル化！詳細は弊社まで

日本総代理店 **極東書店**



FAR EASTERN BOOKSELLERS

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp